

令和4年度学校アンケート結果

※数値は、A(そう思う)B(どちらかといえばそう思う)の合計の割合です。

分類	対象	教育活動に関する設問	R3	R4	
学習面	1	保	子どもの家庭学習の定着・習慣化に協力できている。	78	79
		児	家庭学習にしっかりと取り組んでいますか。	94	95
	2	保	進んで読書をしている。	51	46
		児	意欲的に読書に取り組んでいますか。	83	80
	3	保	ICTを活用した学び合いや 聴き合い、学び合う授業を通して、学力を高める教育を進めている。	97	95
		児	学校で意欲的に学習に取り組んでいますか。	95	89
		児	困ったときや分からないときに、ペアやグループの友だちにたずねることができますか。	95	97
	4	保	友だちの話をしっかり聴くことができますか。	97	98
		保	学習習慣や生活規律が身についている。	85	76
	生活面	5	保	自分から挨拶をしようと心がけている。	77
児			自分からあいさつができていますか。	89	85
保			家庭の中で、子どもの礼儀やしつけを行っている。	95	79
6		保	いじめアンケートや教育相談を通して、いじめの早期発見に努め、指導に活かしている。	95	94
		児	いじめはいけないことと思いませんか。	100	99
		児	友だちと仲良く過ごしていますか。	99	99
7		保	自分には、よいところがあると思いませんか。	89	95
		保	学校に楽しく通っている。	96	96
8		児	学校へ来ることは楽しいですか。	99	96
		児	将来の夢や目標を持っていますか。(5・6年)	80	90
9		児	めあてに向けてがんばることができていますか。	94	90
		保	思いやりや優しさがある言動ができる。	92	94
10	保	子どもと毎日学校のことを話している。	88	88	
	児	困ったことやいやなことがあったとき、相談できる人はいますか。(友だち54% 家の人54% 先生43%)	95	98	
11	保	学校生活のきまりやルールを守って、安全に生活していますか。	97	95	
	児				
健康安全面	12	保	子どもの健康・安全に対する配慮ができている。	97	98
		保	体育の授業や運動会、保健指導等の取り組みを通して健康を保つ指導を行っている。	93	97
	13	保	交通安全や避難訓練、防災教室などを通して自分の身を守るために必要な学習を行っている。	97	94
		保	ゲームやネット、SNSなどのメディア使用に関して、家庭で決めたルールを守ることができている。	72	62
	14	保	はやね・はやおき・あさごはんなど、生活リズムを守り、規則正しい生活を送っていますか。	87	81
		児	進んで休み時間に外で遊んでいますか。	85	72
開かれた学校	15	保	地域学習支援、ゲストティーチャー、ボランティアを招いて、保護者・地域と共につくる学校の推進に取り組んでいる。	97	95
		保	各種通信や学校ホームページなどで、学校の取り組みや子どもの様子を伝えている。	97	97
	保	学校行事に積極的に参加するなど、子どもの学校生活に関心をもっている。	91	94	

<今後の重点的な取組>

学習面

1・4-「家庭学習に取り組んでいる」と答えた児童が90%以上であるのに対して、「学習習慣や生活規律が身についている」「家庭学習の定着・習慣化に協力できている」と回答された保護者の割合は80%未満という結果になりました。

今後、「家庭学習の手引き」の周知を図るとともに、学び方の指導や家庭学習の内容の工夫を行っていきます。

2-アンケートの結果から、読書離れがすすんでいる傾向が見られます。朝読書や読書週間の取組、図書ボランティアの方々による読み聞かせ等を継続するとともに、子ども達が進んで本に親しむことができるような取組を工夫していきます。

3-本校の「協同的な学び(聴き合い、学び合い)」が一定の成果を上げていていると考えられます。来年度も「聴き合い、学び合い」を大切にしたい授業づくりを進めていきます。

生活面

5-「すすんで挨拶をする」という子ども達の割合が年々減少しています。挨拶はコミュニケーションの第一歩であり、社会に出ても必要となる力です。今後も挨拶指導、児童会による挨拶運動、挨拶標語の取組を継続していきます。また、学校での取り組みを積極的に発信していきます。

6・7-いじめに関する指導は、一定の成果を上げることができたと考えられます。また、学校が楽しいと答えた児童の割合も高い数値を示しています。しかし、「いじめアンケートや教育相談が、いじめの早期発見や指導に活かされてない」という意見があることや、学校が楽しくないと回答している児童がいる、ということを実感に受け止めなければなりません。今後もいじめの早期発見、早期対応に努めるとともに、児童に対する指導や相談体制を充実していきたいと考えています。

健康安全面

16-「メディア使用に関する家庭のルールを守れた」と答えた児童が約60%で、かなり低い結果となりました。今後、外部人材を有効に活用しながら、系統的にネットモラル教育を実施していきます。

18-進んで休み時間に外へ出て遊ぶ児童が減少しています。コロナ禍による児童の体力低下が問題となる中、外遊びは体力向上において重要であると考えます。引き続き「三重北遊びデイ」を実施し、教員も外に出て遊ぶことで、外遊びをする児童の増加を目指していきます。

開かれた学校

本校は、地域学習やボランティアが充実しており、子ども達の教育に良い影響を与えています。今後、カリキュラムへの位置付けを明確にする等、更に有意義な教育活動となるよう取り組みます。また、日々の取組の様子をホームページや学校だよりで発信することにより、保護者・地域の方々の理解や協力を得られる学校づくりに努めます。